

## 経営学部 情報公共論(前期・火曜日 2 限 LT1073 教室)シラバス

### ●授業概要・到達目標

#### 〈概要〉

産業の高度成熟化および社会全体の高度情報化を迎えた 21 世紀社会におけるビジネス・インフラの担い手として、最近では情報 NPO やまちづくり NPO などの新しいタイプの NPO が注目されています。

例えば、情報産業のビジネス・インフラを構成する OS として最近話題になっている Linux は、サーバー用 OS としてマイクロソフト社の Windows をしのぐ高い評価を受け、インテル社などの支援もあり現在急速にそのシェアを伸ばしていますが、これは NPO 組織によって開発され、維持・管理されているソフトです。またアメリカの情報産業の中心地である米シリコンバレーが 90 年代に急成長を遂げた要因の一つには、「ジョイントベンチャー・シリコンバレー・ネットワーク」(JVSVN)という NPO が教育・医療・行政サービス・ビジネスなど幅広い分野の情報化を「民間主導」かつ「非営利」の立場で市や郡といった行政区画の境界を越えて一挙に実現したことがあると言われてしています。

このように本講義では、NPO によって構築＝管理されている新しい公共財としてのソフトや情報インフラに関する公共経営学的考察、および、情報セクターにおける公共性の思想や文化などの諸問題を取り扱います。

#### 〈到達目標〉

情報公共財の社会的な意味や機能について学び、自分の頭で考察できるようになることを目的とする。

### ●授業内容

第1回 ガイダンス

第2回～第3回 情報公共論の対象領域および問題領域(1)—公共セクターそれ自体の情報化、「電子政府・電子自治体」問題

第4回～第5回 情報公共論の対象領域および問題領域(2)—公共財の公共経済学的定義、消費における非-競争性とフリーライダーの非-排除性

第6回～第7回 情報公共論の対象領域および問題領域(3)—イノベーションや創造的活動の基礎としての公共財、「反共有地の悲劇」問題の回避

第8回～第9回 公共的情報財としての Open Source Software, Freesoftware および Creative Commons 運動

第10回～第11回 公共的情報財(1)—デジタル・コンテンツ系公共的情報財

第12回～第13回 公共的情報財(2)—プログラム系公共的情報財

第14回～第15回 公共的情報財の普及問題—民間セクターおよび公共セクターにおける OSS の普及問題

### ●履修上の注意・準備学習の内容

#### 〈履修上の注意〉

本授業に関連する基礎的知識を有すること。

#### 〈準備学習〉

前回の講義内容の復習とともに次回の授業範囲の予習し、授業内容の理解に必要なキーワードに関しては、自分でインターネットや図書館などを利用して十分に調べておくこと。

### ●教科書

教科書の指定はありません。

### ●参考書

参考書に関しては授業中に紹介します。

### ●成績評価の方法

学期末試験：100%

### ●その他

<http://www.sanosemi.com/infopub/>に授業内容に関する詳しい紹介があります。